

第二次寝屋川市健康増進計画(素案)の概要

01 計画策定の趣旨



本市では、平成30(2018)年3月に市民の健康増進を総合的に推進する「寝屋川市健康増進計画」(以下「前計画」といいます。)を策定し、基本目標を「健康寿命の延伸」として、健康増進施策を総合的に推進してきました。

全ての世代の市民の健康づくりを社会全体で進めることの重要性が増す中で、健康づくりに関する施策を総合的、計画的に推進していくために「第二次寝屋川市健康増進計画」(以下「本計画」といいます。)を策定します。

02 基本理念・基本目標・基本方針



基本理念

みんなが健康で ころろ豊かに暮らせるまち ねやがわ

基本目標

健康寿命の延伸

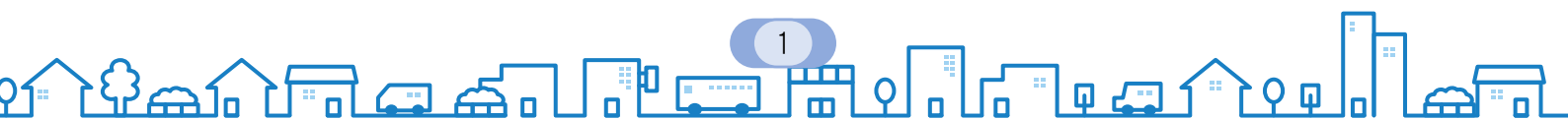
基本方針

- 1 生活習慣の改善・フレイル対策
- 2 生活習慣病の発症予防・重症化予防
- 3 誰もが自然に健康になれるまちづくり

03 計画の推進・進捗管理と期間



本計画は、令和6(2024)年度から令和12(2030)年度までの7年間を計画期間とし、目標の達成に向けた取組内容や実績等を年度毎に検証していきます。





「健康寿命の延伸」を達成するため、基本方針である「生活習慣の改善・フレイル対策」「生活習慣病の発症予防・重症化予防」「誰もが自然に健康になれるまちづくり」に沿った分野ごとに、課題や目標などを設定しています。

(1) 基本目標

目標	指標	指標データソース	現状値	目標値
健康寿命の延伸	日常生活動作が自立している期間（要介護2以上になるまでの期間）の平均	国保データベース（KDB）システム（大阪府調べ）	男性 79.1歳 女性 83.8歳	R2 増加

(2) 分野ごとの取組目標

	目標	指標	指標データソース	現状値	目標値
栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加	BMI 18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満） BMI 20以下の高齢者（75歳以上）の割合	市民アンケート 後期高齢者健診	62.7% 18.3%	R3 66% R3 減少
	小・中学生における肥満傾向児の減少	小・中学生における肥満傾向児の割合	学校定期健康診断	13.6%	R4 減少
	バランスの良い食事を摂っている者の増加	1日2回以上バランスの良い食事（主食・主菜・副菜を揃えた食事のこと）を食べている者の割合	市民アンケート	70.1%	R3 増加
	野菜摂取量の増加	野菜をしっかりと食べていると答えた者の割合	市民アンケート	44.2%	R3 50%
	食塩摂取量の減少	食塩を多く含む食品を控えるようにしている者の割合	市民アンケート	58.9%	R3 65%
	朝食を欠食する者の減少	朝食を食べていない者の割合	市民アンケート	11.1%	R3 減少
	共食している者の増加	朝食または夕食を同居人と一緒に食べている者の割合	市民アンケート	朝食 55.3% 夕食 76.9%	R3 80%
運動・身体活動	日常生活における歩数の増加	1日の歩数の平均値	市民アンケート	なし	7,100歩
	運動習慣をもつ者の増加	1回30分以上の運動・スポーツを週2回以上、1年以上継続している者の割合	市民アンケート	35.7%	R3 40%
休養・睡眠	睡眠で休養がとれている者の増加	睡眠による休養が十分とれている者の割合	市民アンケート	74.3%	R3 80%
たばこ	喫煙率の減少	20歳以上の喫煙率	市民アンケート	男性 26.3% 女性 7.7%	R3 男性 21.0% 女性 6.5%
	妊婦の喫煙率の減少	妊婦の喫煙率	4か月児健診	3.6%	R4 3.2%
アルコール	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少	飲酒者のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	市民アンケート	男性 26.5% 女性 24.7%	R3 男性 25.5% 女性 23.7%
歯と口の健康	歯周病を有する者の減少	成人歯科健康診査における歯周炎（歯周ポケット6mm以上）にかかっている者の割合	成人歯科健診結果	26.3%	R3 26%
	よく噛んで食べることができる者の増加	よく噛んで食べることができるかと答えた者の割合	市民アンケート	なし	増加
	歯科健（検）診の受診者の増加	成人歯科健康診査の受診率	成人歯科健診結果	10.2%	R3 12%
		過去1年間に歯科健（検）診を受診した者の割合	成人歯科健診結果	42.3%	R3 55%
	う蝕を有する乳幼児の減少	3歳でむし歯のない（治療歯もない）子どもの割合	3歳6か月児健診	3歳6か月児 89.3%	R3 91.1%
	う蝕を有する児童・生徒の減少	12歳でむし歯のない（治療歯もない）子どもの割合	学校歯科健診	小学6年生 76.5%	R3 小学6年生 80%
歯の喪失の防止	60歳で24本以上の歯を有する者の割合	成人歯科健診結果	91.6%	R3 95%	
日常生活機能	適正体重を維持している者の増加(再掲)	BMI 20以下の高齢者（75歳以上）の割合	後期高齢者健診	18.3%	R3 減少
	バランスの良い食事を摂っている者の増加(再掲)	1日2回以上バランスの良い食事（主食・主菜・副菜を揃えた食事のこと）を食べている者の割合	市民アンケート	70.1%	R3 増加

		目標	指標	指標データソース	現状値		目標値
生活習慣の改善・ ライフスタイル対策	日常生活機能	よく噛んで食べることが できる者の増加(再掲)	よく噛んで食べることができると 答えた者の割合	市民アンケート	なし		増加
		歯の喪失の防止(再掲)	60歳で24本以上の歯を有する者の 割合	成人歯科健診結果	91.6%	R3	95%
		社会活動を行っている 者の増加(再掲)	いずれかの社会活動(就労・就学 を含む。)を行っている者の割合	市民アンケート	なし		増加
		骨粗鬆症検診受診率の 向上	骨密度検診受診率	地域保健・健康増 進事業報告	2.93%	R3	増加
生活習慣病の発症予防・ 重症化予防	がん	がん検診の受診率の向 上	胃がん検診受診率	地域保健・健康増 進事業報告	2.20%	R3	増加
			肺がん検診受診率	地域保健・健康増 進事業報告	3.86%	R3	増加
			大腸がん検診受診率	地域保健・健康増 進事業報告	4.67%	R3	増加
			乳がん検診受診率	地域保健・健康増 進事業報告	マンモ 5.21% エコー 4.40%	R3	増加
			子宮がん検診受診率	地域保健・健康増 進事業報告	5.21%	R3	増加
	循環器 病・糖尿 病	高血圧の改善	高血圧Ⅱ度以上に該当する者の割 合	KDBデータ	7.0%	R3	減少
		メタボリックシンド ロームの該当者の減少	メタボリックシンドロームの該当 者及び予備群に該当する者の割合	特定健康診査等の実 施状況に関する結果	33.3%	R3	22.8%
		特定健康診査の受診率 の向上	特定健康診査受診率	特定健康診査等の実 施状況に関する結果	33.6%	R3	増加
		特定保健指導の実施率 の向上	特定保健指導の実施率	特定健康診査等の実 施状況に関する結果	17.0%	R3	増加
		血糖高値者の減少	血糖高値者(HbA1c6.5%以上)の 割合	KDBデータ	10.1%	R3	減少
	COPD	COPDの死亡率の減 少	COPDの死亡率(人口10万人あ たり)	人口動態調査	13.8	R2	減少
誰もが自然に健康に なれるまちづくり	社会との つながり・こ ころの健康 の維持及 び向上	社会活動を行っている 者の増加	いずれかの社会活動(就労・就学 を含む。)を行っている者の割合	市民アンケート	なし		増加
		地域等で共食している 者の増加	地域等で共食している者の割合	市民アンケート	なし		増加
		ゲートキーパー数の増 加	ゲートキーパー研修の受講者数 (累積)	ゲートキーパー養 成研修	702人	H27 ~R4	1,400人
		心理的苦痛を感じてい る者の減少	K6(こころの状態を評価する指標) の合計得点が10点以上の者の割合	市民アンケート	12.2%	R3	減少
		自殺者の減少	自殺死亡率(人口10万人あたり)	地域における自殺 の基礎資料	17.79	R3	減少
		ストレス軽減のための行動 をとれている者の増加	ストレス軽減のための行動をとれ ている者の割合	市民アンケート	58%	R3	70%
		悩み事を相談することが できる支援機関を知っている 者の増加	悩み事を相談することができる支 援機関を知っている者の割合	市民アンケート	なし		増加
	自然に健 康になれる 環境づく り	ヘルシーメニューを提 供する飲食店等の増加	「うちのお店も健康づくり応援団 の店」協力店舗数(累積)	大阪ヘルシー外食推 進協議会事業報告	476店舗	~R4	490店舗
		受動喫煙の機会を有す る者の減少	過去1か月以内で、屋内における望ま ない受動喫煙にさらされる機会があ った者の割合	市民アンケート	なし		減少
		家庭内で受動喫煙にさ らされる子どもの割合 の減少	家庭内で日常的に受動喫煙にさら される機会のある子どもの割合	市民アンケート	なし		減少
	誰もがア クセスで きる健康 増進た めの基盤 の整備	働く人の健康づくりを 意識する企業の増加	地域・職域連携推進会議のワーキ ンググループの「働く人の健康づ くり会議」に参加する企業数	会議に参加した企 業数	6社	R4	増加

05 計画の評価



令和6(2024)年度に実施するアンケート調査(ベースライン値)と、令和11(2029)年度に実施する予定のアンケート調査(評価時値)結果や事業実績値等を比較し、当初に設定した各目標値にどれだけ近づいたかを判定することで最終評価を行います。

